

市区町村名	愛媛県松山市	担当部署	総合政策部企画戦略課
		電話番号	089-948-6943
		所属メール	kikaku@city.matsuyama.ehime.jp

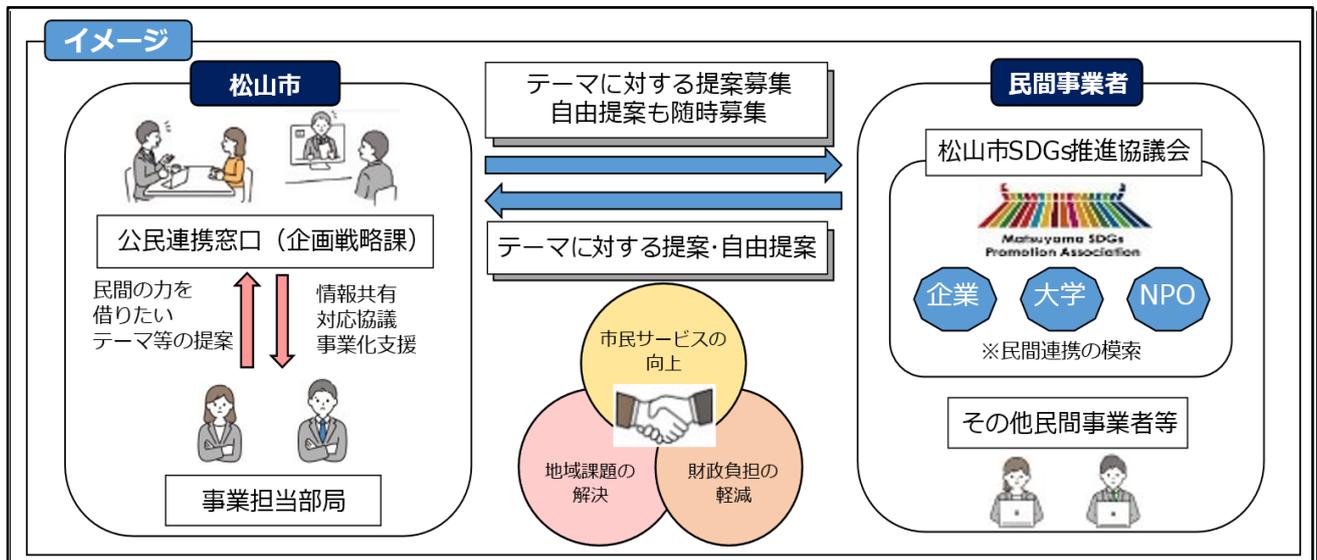
<b>1 取組事例名</b>
公民連携窓口「まつやま未来パレット」開設

<b>2 取組期間</b>
令和5年5月～（継続中）

### 3 取組概要

- ・公民連携窓口「まつやま未来パレット」は、民間事業者（企業、大学、NPO等）から地域の様々な課題を解決する提案を受け付け、民間事業者と事業担当部局のハブとして機能する窓口である。
- ・窓口では、民間事業者からの「市が設定したテーマに対する提案」「自由提案」をワンストップで受け付け、スピード感を持って事業化を検討し、より良い市民サービスの実現を目指している。

#### 【公民連携窓口「まつやま未来パレット」のスキーム】



※未来パレットという名前は、絵の具のパレットをイメージしており、受け皿として、民間事業者と市役所の様々な色が混ざり合う未来をイメージして決定した。

## 4 背景・目的

社会が目まぐるしく変化し、地域が抱える課題は、多様化・複雑化しており、財政制約やノウハウの限界がある行政だけで、全ての課題を解決することは困難である。

そこで、公民連携窓口「まつやま未来パレット」を設置し、民間事業者が行政へ提案を行いやすい環境を作ることで、民間の強み「技術・ノウハウ・専門性」と行政の強み「地域資源やフィールド、信頼度」などを生かしながら、従来の発想にとらわれず、行政と民間が対話と協働で地域課題に取り組み、新たな価値を生み出すことを目指している。

行政運営は、従来の発想に捉われず、地域課題に行政と民間が対話と協働で、新たな価値を生み出す必要がある。

### 公民連携窓口「まつやま未来パレット」を設置



#### 民間の強み

- ・技術やノウハウ
- ・ナレッジ
- ・専門性
- ・企画力、販売力



#### 行政の強み

- ・幅広い業務範囲
- ・公平、公正
- ・市民とのつながり
- ・地域資源やフィールド



## 5 取組の具体的内容

### 提案の流れ



1. エントリー  
フォームに  
提案の概要等  
を入力し、お送り  
いただきます。



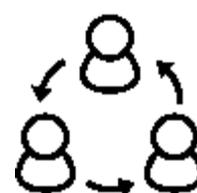
2. 対話  
提案の詳細を  
聞き取り、  
連携の可能性を  
話し合います。



3. 提案書の提出  
対話の内容を  
踏まえ、  
提案書をご提出  
いただきます。



4. 評価  
実施の可否を  
検討し、提案の  
取り扱いを  
お知らせします。



5. 事業実施  
必要な手続きを  
行い、事業を  
開始します。

【公民連携窓口「まつやま未来パレット」での提案要件】

対象者	市内外問わず、提案する事業内容を自ら実施する意思及び能力を有する「民間事業者」、「大学・研究機関」、「NPO法人等の法人」又は「任意団体」等
対象	地域課題の解決や市民サービスの向上、財政負担の軽減など本市が抱える課題の解決につながるものであり、公平性・公益性等の観点から妥当な提案であること。
費用	基本的には、本市に新たな財政負担が生じないものとして、以下のいずれかに該当する提案であること。 ・歳出を伴わない ・歳出の削減が見込まれる ・歳出を伴うものの、それを上回る歳入増加が見込まれる
その他	実現可能な提案内容や事業スケジュールであること。

- ・民間事業者からの提案は、市ホームページのエントリーフォームから受け付けている。提案者の負担にならないよう、エントリーフォームの項目は必要最小限とし、信頼関係を構築するためにもその後の対話による聞き取りと連携可能性の協議を重視している。
- ・窓口の開設にあたり、民間事業者からの提案を促すため、さまざまな方法での周知に努めた。
  - (1)報道各社を集めた定例記者会見
  - (2)金融機関を通じた民間企業への周知
  - (3)市広報（広報紙、広報番組等）での周知
  - (4)「松山市SDGs推進協議会」の会員団体へのプッシュ型通知
- ・提案実施の場合は、事業担当部局と提案事業者で協議を進め、連携事業を開始する。また、市ホームページにも提案実施の内容を掲載し周知している。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

公民連携窓口「まつやま未来パレット」では、官民連携プラットフォームとして活動している松山市SDGs協議会の枠組みを効果的に活用し、会員団体に対して、プッシュ型の通知による情報発信やセミナーを開催するなど、地域課題を共有することで民間事業者からの提案を促している。

※松山市SDGs推進協議会

令和2年7月、松山市がSDGs未来都市に選定されたことを契機に、産・官・学・民・金など多様なステークホルダーが情報交換や人的交流、プロジェクトを実施する官民連携プラットフォーム

松山市SDGs推進協議会

- 令和2年7月31日活動開始  
（松山市も含め**251**団体） ※ R6.4月末時点
- 産・学・民・官・金など  
多様なステークホルダーが参加  
連携して情報交換や人的交流、  
プロジェクトを実施

↓協議会のロゴマーク



## 7 取組の効果・費用

- ・公民連携窓口「まつやま未来パレット」の開設に関して、職員人件費を除き、設置や運営にかかる委託等の費用は発生していない。
- ・窓口への提案により、連携実施する場合も新たな財政負担は生じていない。  
（「まつやま未来パレット」の提案条件が「原則、市に新たな財政負担が生じないもの」のため。）
- ・令和5年度は、民間事業者から23件の提案があり、13件の実施につながった。具体的には、「交通安全教室」や「大学生が参加する社会貢献型インターンシップ」など本市の既存事業への協力や社会課題解決につながる取組が行われた。
- ・窓口がワンストップで提案を受け付け、庁内の調整に入ることで、事業担当部局が複数にまたがるような提案もスピード感を持って対応できるようになった。

### 【連携事業の例】



一般社団法人日本自動車連盟愛媛支部との連携で実現した交通安全教室



㈱クラダシと㈱愛媛銀行との連携で実現した社会貢献型インターンシップ

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・新たな財政負担が必要な提案は、予算確保や契約の公平性の課題があるため、現在の制度では窓口としては受け付けることができない。

## 9 今後の予定・構想

- ・設置した令和5年度では、一定の提案実績と事業実施の成果を挙げることができた。今後、庁内外への積極的な周知を進め、さらに公民連携を推進していきたい。
- ・「松山市SDGs推進協議会」のプロジェクト実践の機能を活用し、市の地域課題に対して民間事業者同士の連携による取り組みにもつなげていきたい。

## 10 他団体へのアドバイス

- ・民間事業者の地域課題に対する取り組み方が変わってきていると感じている。地域に対して投資することの価値や行政と連携することでのメリットを感じている民間事業者は多い。
- ・民間事業者側から、自治体との連携を考えた時に、どの部署に話を持っていけば良いか分からないとの意見を聞く中で、窓口設置による民間提案の一元化は有効な施策である。
- ・今後も、民間事業者との連携は確実に拡大していく流れとなることから、ぜひ他自治体でも窓口設置などの公民連携の手法を検討いただきたい。

## 11 取組について記載したホームページ

- ・公民連携窓口「まつやま未来パレット」  
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/miraipalette.html>